



1 はじめに ～ 始動！ ふくしま外国語教育推進リーダー ～

ふくしま外国語教育推進リーダー（以下「県推進リーダー」という。）が、始動しました。

平成30年4月24日（火）、第1回ふくしま外国語教育推進リーダー協議会が開催されました。英語専科教員として「英語パイオニア校（本務校）」に勤務している9名の県推進リーダーは、合計16校の派遣校に質の高い外国語教育の授業を展開します。本務校及び派遣校は下のとおりです。

平成30年度、ふくしまの外国語教育の新たな挑戦が始まります。

子どもたちの未来のために

ふくしまの未来のために



上：①猪野 真理 ②佐藤 圭美 ③本好 利彰 ④佐藤真理子 ⑤渡部 珠代
下：⑥荒井 智 ⑦慶徳ひろ子 ⑧一ノ瀬由美 ⑨室井 康志 ※敬称略

英語パイオニア校()は派遣校

大山小②(玉井小・本宮まゆみ小・岩根小)

石川小⑦(沢田小・野木沢小)

みさか小⑥(白河第一小)

城西小①(小金井小)

田島小④(田島第二小・桧沢小・荒海小)

館岩小⑤(伊南小・南郷小)

桜丘小④(大野小)

泉小③(渡辺小)

小名浜東小⑧(小名浜第二小・永崎小)

今まで誰も足を踏み入れたことのない ふくしまの新たな外国語教育へ

2 平成29年度英語教育実施状況調査の結果

4月上旬に、平成29年度英語教育実施状況調査の結果が公表されました。以下のような結果となりました。

●英語担当教員（中学校）の英語力（英検準1級等以上）

⇒福島県：19.0%／全国：33.6%

●生徒（中学校3年生）の英語力（英検3級程度以上）

⇒福島県：32.9%／全国：40.7%

学校教育の現状は授業実践だけではなく、教材研究、生徒指導、学校行事及び部活動指導等、忙しい毎日ではありますが、児童生徒の資質・能力の育成のためにも、私たち自身の英語力も高めなくてはなりません。そこで、先生方も各種英語の検定試験等に積極的に挑戦するとともに、各校で目標とする生徒の英語力の指標(%)を設定するなど、さらなる資格取得を目指し、児童生徒の英語力向上に努めていきましょう。

Q11：文法は、どのように扱えばよいか教えてください。

- まず、小学校と中学校の違いを確認します。小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編及び中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編では、「文」、「文構造」、「文法事項」という用語について、以下のように使い分けをしています。

小学校：文及び文構造

中学校：文、文構造及び文法事項

小学校には「文法」という概念は存在しません。

- 次に、具体的な記述で確認します。

○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編

第2部 外国語 第2章 第2節 3（2）内容の取扱い

ウ 文や文構造の指導に当たっては、次の事項に留意すること。

- (ア) 児童が日本語と英語との語順等の違いや、関連のある文や文構造のまとまりを認識できるようにするために、効果的な指導ができるよう工夫すること。
- (イ) 文法の用語や用法の指導に偏ることがないように配慮して、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。

この事項は、小学校の外国語科においては、文法の用語や用法の指導を行うのではなく、言語活動の中で用いられる表現として聞いたり話したりして活用できるようにすることが重要であることを意味している。

○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編

第2章 第2節 3（2）内容の取扱い

エ 文法事項の指導に当たっては、次の事項に留意すること。

- (ア) 英語の特質を理解させるために、関連のある文法事項はまとめて整理するなど、効果的な指導ができるよう工夫すること。
- (イ) 文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、コミュニケーションの目的を達成する上での必要性や有用性を実感させた上でその知識を活用させたり、繰り返し使用することで当該文法事項の規則性や構造などについて気付きを促したりするなど、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。
- (ウ) 用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、実際に活用できるようにするとともに、語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導すること。

文・文構造・文法事項 ⇒ 言語活動と効果的に関連付けて指導

小学校：文法の用語や用法の指導は行わない

中学校：文法はコミュニケーションを支えるもの